



小原 仁興 議員 (一般質問)

## これからの難局を乗り切るための行程は

町長 トップダウンやボトムアップにこだわるものではない

### 令和2年度町政執行方針について

**質問** 令和2年度の基本方針に「積極的な情報公開と町民の理解」を掲げており、明文化し掲げる以上、今までと違うアプローチで情報公開をするものと思います。どのような形で町民に情報を開示するのか伺います。

**執行方針**では「自ら考え、自律し、提案できる自治体」がこれからの難局を乗り切るとのことです。これはトップダウンからボトムアップに移行することを示すものと思いますが、このような形へ転換するための行程を伺います。

**町長** 小原議員の「令和2年度町政執行方針について」のご質問にお答えします。

1点目の「どのような形で情報を開示するのか」についてですが、町民の皆様への情報提供につきまして、は、町民の生活や、地域・経済活動に影響を与えるも

の、新たな制度や改正等様々なものがあり、その内容や情報提供の対象者、情報提供の内容、時期等によって情報提供の方法を使い分けているところです。

今後、広報「しもかわ」やお知らせ等の配布物のほか、町のホームページ、行政端末の活用、町民説明会、町民懇談会等の開催などを基本に情報提供、情報公開を行います。また、技術革新がめまぐるしい昨今、最新の技術だけを追い求めるのではなく、どのような方法が町民の皆様へわかりやすく、必要な情報をお伝えできるのか、情報開示ができるのかを検討します。

2点目の「自ら考え、自律し、提案できる自治体」につきましては、地域の課題を捉え、将来像を描き、提案し町作りを進めていくことがこの難局を乗り越えることができると表現したものであり、その手法は、トップダウン、ボトムアップにこだわるものではありません。

ませので、ご理解ください。

### しもりんドーム構想について

**質問** 平成30年度より中心市街地最適住環境調査に取り組んでおり、結いの森南側の休閑地を利活用する調査を行っています。外部機関の総合研究所に依頼をして、初年度は調査報告を基に「しもりんドームパーク構想」という提案を受けたようです。

さらに令和元年度に追加調査で同じ総合研究所に再調査を依頼しているとのこととです。

設計費用に総額500万円が投じられ、投資金額に見合う結果が得られるためにも有効な活用が望まれるが、今後どのような形で公開し、現実のものとしていくのか伺います。

**建設水道課長** 今後どのような形で公開し、現実のもの

のとしていくのか」についてですが、本調査はあくまでも、有効な土地利用の基本的な考え方についての調査を行うものであり、調査結果を基に直ちに具体的な事業を実施する予定はありません。

具体的な事業を進めるに当たって、町民の皆さんからの意見を反映する検討委員会等の開催や実施のための財源も必要であることから、内部での調査・研究を進めながら、実施につきましては、慎重に検討したいと考えています。